

～子どもの学びと育ちを支え、質の高い幼児教育・保育を目指して～



つむぐ

No. 68

令和6年7月11日発行

袋井市幼児教育センター

安全に使用することを学ぶ(花火教室)

夏は、家庭などで花火を経験する子どもたちもいることから、袋井市の消防署では花火教室を開催しています。火災の怖さや花火の正しい取り扱い方を子どもたちに分かりやすく教えてくれます。消防士の方の指導を受け、実際に花火に着火する体験は「ちょっとこわい」「花火きれい」等、感想を言葉にしながら、ドキドキした気持ちで取り組んでいました。「安全に使用するための約束をお家の人に話をしてくださいね。」と消防士の方の話に、大きく頷いていました。安全に遊ぶための約束を学ぶ機会となり、家庭にもつながります。



幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)

(1)健康な心と体

(2)道徳性 規範意識の芽生え

(3)社会生活との関わり

(4)自立心

(5)自然との関わり・生命の尊重

(6)言葉による伝え合い

(7)協同性

(8)思考力の芽生え

(9)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

(10)豊かな感性と表現

紙芝居から火遊びをしないことを学びます。花火のやり方も教えてもらいました。



ドキドキしながら花火の体験をしました。

消防自動車の装備に関心をもち、質問していました。

幼児教育センターだより『つむぐ』では、市内の幼稚園や保育所(園)こども園での実践の様子などを紹介しています。袋井市教育委員会 幼児教育センター Tel:86-5511